

活 動 の 様 子 報 告 書 (団員報告用)

団 員 名	特別養護老人ホーム迫風園
活 動 年 月 日	令和 2 年 1 月 2 8 日 (火) 1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 5 0
支 援 の 種 別	<input type="checkbox"/> 職場見学 <input checked="" type="checkbox"/> 就業体験 <input type="checkbox"/> 講師・指導者の派遣 <input type="checkbox"/> 場所・物品の貸出
受 入 団 体 名	登米総合産業高等学校 (昇菘・生徒 2 5 名, 先生 2 名)
活 動 の 概 要	登米総合産業高等学校を会場に、福祉科 2 年生 2 5 名と施設職員や地域住民(2 4 名)と地域包括支援センター職員(4 名)と登米市職員(1 名)が地域福祉について考えるために認知症カフェを実施。別紙の地域福祉人材育成研修のように、音楽あり、認知症セミナーあり、介護ロボット体験ありと、多彩な内容で実施となった。
感 想 や 要 望	福祉科の生徒は、福祉施設等に就職すれば、認知症カフェの企画・運営にも携わることになるので、疑似体験ができたこと、生徒さん、先生ともにとっても喜んでいました。次回は、企画・運営を生徒さん自身でしてみたいという要望もあった。地域の方々や行政(登米市・包括)と一体となって実施できたことで、より意義があったと思われる。次年度も実施したい。
【活動の様子】	
別紙の地域福祉人材育成研修「音楽×認知症セミナー×介護ロボット体験」R 2 年 1 月 2 8 日(火)を参照	

地域福祉人材育成研修「音楽×認知症セミナー×介護ロボット体験」 R2年1月28日(火)



迫包括(2名)、中田・石越包括(2名)、演奏者(2名) 紅白歌合戦などで知られた曲が演奏されました。



登米総合産業高校福祉科2年生(25名)、包括の職員が準備した認知症クイズにチャレンジ。



介護ロボット体験では、高校生が声掛けしなくても積極的に体験していました。



福祉科の先生や施設職員、一般の方も体験していました。皆さん、とても積極的でした。



しっぽを振る猫型の癒しロボットにも興味深々、若い生徒さんたちは好奇心旺盛です。



高校生、施設職員、一般の方々が混然一体となって研修は楽しく進行しました。

登米総合産業高校福祉科生徒25名(2年生)と施設職員や一般の地域住民(24名)で地域福祉について考えるカフェを実施。迫包括2名、中田・石越包括2名、登米市職員1名、教員2名、演奏者2名 合計58名参加。